



貴 峯 だ よ り

第145号

発行者 (福) 神奈川県厚生協会
 理事長 岩淵壽郎
 住 所 平塚市達上ヶ丘1-9
 電話 0463 (31) 0617代
 印 刷 貴峯荘ワークピア 印刷科
 電話 0463 (35) 6170 (直通)
 E-mail: insatsuka@kihoso.net

創立55周年

貴峯荘湘南の丘所長
佐藤 洋克

4月の下旬に貴峯荘創立55周年記念行事として、法人全体で横浜に木下大サーカスの見学に行きました。公演が終わって会場から退場の際、たくさんの人たちが一斉に出口に向かったため、地面に敷きつめてあった、グリーン敷物のあちこちでめくれあがって、車いすの前列が引掛かり、動かすのも大変で、足でめくれたところを平らにしておりました。すると、そこにいたお母さんが気づいて、すばやく直してくれ、一緒にいた子供2人もしゃがみこんで、あちこちを平らにしてくれました。とっても嬉しかった瞬間でした。

そんな出来事を思い出したのは、7月3日の毎日新聞の社説でした。障害者差別解消法の成立に触れ、「この国は障害のある人にとって優しい社会だろうか…〈中略〉：障害者への温かい視線や自然でさりげない助けを外国の街で見かけたりとすると、考えてしまう。」という記事を読んで、なるほど、なかなか、自然でさりげない助けが出来るようになるのは難しいことだな。この2人の子供は大きくなった時、そんな自然な振る舞いが出来るようになってくれるのではないかと淡い期待をいただきました。

そして、創立55周年の記念すべき年に成立した障害者差別解消法は行政に差別解消の責務を担わせるという点であり、行政による丁寧な相談と啓発を期待して行きたいと思えます。

また、貴峯荘としても障害者だけでなくすべての人に優しい社会づくりに尽力しなければいけないと思っております。

実は55周年というと、東京タワーと同じ年です。いつまでも親しまれている東京タワーのように貴峯荘も地域から親しまれていたいと思えます。





ブルースカイエコーと春日野中学校吹奏楽部 ジョイントコンサート報告

去る8月26日、ブルースカイエコーと春日野中学校吹奏楽部の皆さんが60名余り来園され、当園にて合唱と吹奏楽のコンサートを開催して下さいました。

まず、第1部では春日野中学校校長 神林先生が長年指導されている合唱グループ「ブルースカイエコー」の皆さんが、戸富士山戸など吹奏楽部の生徒さんと一緒に唄われました。曲目も懐かしい歌や元気の出る曲が多く、利用者さんも口ずさんだり、体でリズムをとったりして、会場全体が和やかな雰囲気になりました。

第1部が終わり、第2部の準備の間、なんと校長先生が大きな歌声で戸水戸黄門戸を披露して楽しませて下さいました。

第2部は、吹奏楽部の演奏です。先日行われた県吹奏楽コンクールで銀賞を受賞した実力を遺憾なく発揮し、迫力あるサウンド、軽快なパーカッションのリズムで利用者の皆さんを魅了しました。アンコールで戸よさこいソーラン節戸が演奏されると、会場のボルテージも最高潮に達し、会場全体が一つになりました。

第3部は、利用者さんと一緒に歌うプログラムです。吹奏楽部の皆さんが、利用者さんに1人ずつついて一緒に歌ってくれました。利用者さんの中には、感動のあまり泣き出す人や、ステージで部員の方々と一緒に踊り出す人もいました。

今回、春日野中学校の校長先生をはじめ、多くの方々のご厚意により、盛大なコンサートを開催していただきました。後日、利用者の多くの方から、定期的開催してほしいとの声が上がっています。これを機会に、今後も交流をお願いしたいと思っています。

支援部長 阿部祐之助

支援第一課 美濃口容子

就任にあたり

湘南の丘所長兼
地域支援センター管理者
佐藤 洋克

四月から貴峯荘湘南の丘所長兼地域生活支援センター管理者としてお世話になっております。

福祉事務所のケースワーカーとして、貴峯荘を訪問して以来三十年程が経過し、貴峯荘の建物も福祉の制度も大きく変貌しました。

でも、いつまでも変わらぬ福祉の心で、地域に貢献できる施設づくりに努めたいと思いますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

貴峯荘所長
清水 典昭

この四月に総務部長から貴峯荘所長に就任しました。新たな気持ちで、微力ですが、職責を果たしていく所存でございますのでよろしくお願い申し上げます。

貴峯荘は、創立五十五周年を契機として、グループホームの開所に向けて、利用者の方々が地域移行できるように施設整備を現在、検討を進めております。

これからも引き続き、在宅障害者並びに施設利用者の方々が地域の中で安心して生活できるよう地域福祉事業の拡充強化に努めてまいりますので、ご支援、ご協力をお願いします。



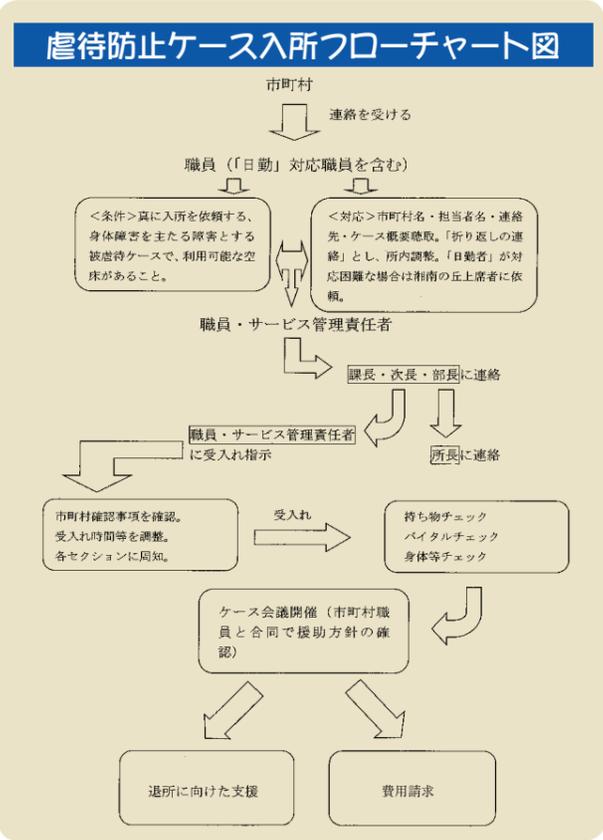
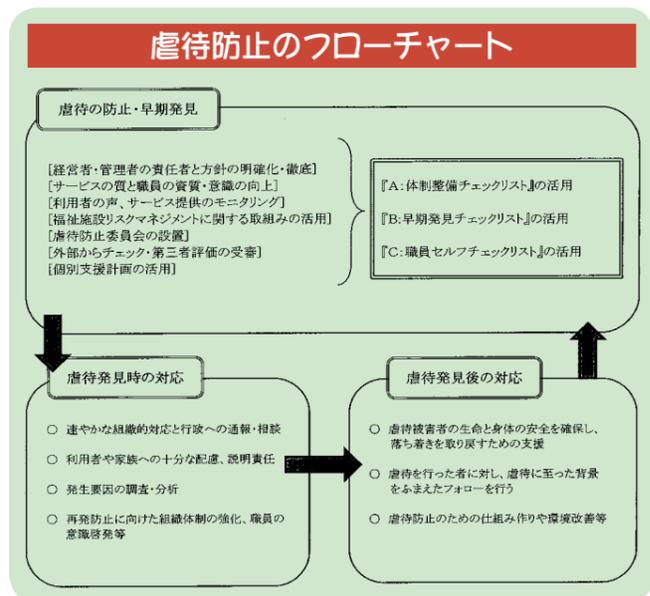
平成24年10月1日、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」が施行されました。

この法律の目的は、障害者に対する虐待が障害者の尊厳を害するものであり、障害者の自立及び社会参加に与える影響を防止することが極めて重要であること等に鑑み、虐待の防止、早期発見、虐待を受けた障害者に対する保護や自立の支援、養護者に対する支援などを行うことにより障害者の権利利益の擁護に資するとされました。

そこで、私たちは障害者福祉に携わっている者の責務として、一層の人權擁護と利用者が安心してサービスを受けられる環境作りのために、虐待を理解して知識を深め障害者を虐待から守るために、法人として「貴峯荘障害者虐待防止委員会」及び「貴峯荘障害

障害者虐待防止

- 者虐待防止委員会検討部会」を設置しました。虐待防止委員会においては、運営規定、重要事項説明書の見直し（虐待防止のための措置に関する事項、虐待防止責任者の明示等）、職員倫理綱領及び職員行動指針を作成しました。また、検討部会においては、毎週水曜日
- ① 虐待防止マニュアル、体制整備防止チェックリストの作成
 - ② 緊急やむを得ない場合の身体拘束等の手続きの明文化
 - ③ 「権利侵害防止の揭示物」
 - ④ 虐待防止に係る研修計画の策定を定め、「障害者虐待防止マニュアル」を作成しました。



部会会議を進めながらも必要に応じて臨時部会会議を開催して検討を重ね虐待未然防止に努めました。

虐待を防止するにあたり法人として、まず虐待内容の5区分を月毎に分けて着目をおき、利用者に変化等がないか「チェックリスト」を活用して早期発見に努めること。虐待防止においては、3ヶ月毎に「職員チェックリスト」の実施及び半年に一度、権利擁護マニュアルに基づき利用者支援がなされているかの確認を行い防止することとしました。

また、毎年2月に委員会において「体制整備チェック」を行い、「早期発見チェックリスト」、「職員チェックリスト」の集約、検証結果を虐待防止責任者へ年間報告を行い、利用者の安全と人權保護の観点から虐待防止とその適切な対応を推進することとした。そして個別性に応じた支援、人權の尊重を原則に法人の理念と法令等を遵守するとともに、利用者の健康で安心できる生活拠点を築きます。

支援第一課 美濃口容子

写真で振り返る 貴峯荘の行事

6月12日
創立記念昼食会

ハイキング形式でどの料理も美味しく大満足でした。



7月2日
七夕飾り

富士見小学校の皆さんと七夕飾りを付けました。星に願いが届きますように。



8月9日
夏まつり

メインステージは今年も華やかに彩られ楽しい夏まつりとなりました。



8月9日
夏まつり模擬店

新メニュー「焼きとうもろこし」と「冷やしラーメン」始めました！どちらも好評でした。



天気が心配でしたが見事に打ちあがり、夜空に浮かぶ大輪の花をみんなで見ることができました。

8月23日
ひらつか花火大会観覧会



2月2日
卓上競技大会

皆さん真剣に、リラックスして楽しみました。



3月5日
餅つき大会

春の餅つきも天気に恵まれ盛り上がりしました。つきたてのお餅を皆さんにいただきました。



4月25日
創立55周年記念ピザ実演

ピザ焼き職人のボランティアさんが来所。みんなで焼き立てのピザを食べました。



5月12日
陸上競技大会

今年の陸上競技大会はメダルラッシュとなりました。皆さんおめでとう！



6月9日
卓球大会

みんなてメダルをめざして頑張りました。おいしいの！



貸借対照表				(単位：千円)			
資産の部	当年度末	前年度末	増 減	負債の部	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	240,638	206,684	33,954	流動負債	40,482	67,245	-26,763
現金預金	131,821	78,714	53,107	買掛金	3,259	3,036	223
売掛金	5,959	6,289	-330	未払金	33,069	60,513	-27,444
未収金他	102,858	121,681	-18,823	預り金他	4,154	3,696	458
固定資産	2,104,472	2,178,077	-73,605	固定負債	397,011	421,772	-24,761
基本財産	1,318,273	1,372,352	-54,079	設備資金借入金	334,603	361,130	-26,527
基本財産特定預金	1,000	1,000	0	退職慰労金	20,528	21,050	-522
現金				退職給与引当金	41,880	39,592	2,288
土地	215,992	215,992	0	負債の部合計	437,493	489,017	-51,524
建物	1,101,281	1,155,360	-54,079	基本金	138,180	138,180	0
その他の固定資産	786,199	805,725	-19,526	国庫補助金等特別積立金	613,161	646,321	-33,160
建物	13,833	3,462	10,371	その他の積立金	777,443	716,491	60,952
構築物	17,298	19,069	-1,771	次期繰越活動収支差額	378,833	394,752	-15,919
器具備品他	40,835	71,253	-30,418				
土地	-	-	-	(うち当期活動収支差額)	-15,918	-14,486	-1,432
投資有価証券	593,051	500,735	92,316	純資産の部合計	1,907,617	1,895,744	11,873
その他の積立預金	58,774	150,564	-91,790				
その他の固定資産(預け金他)	62,408	60,642	1,766	負債及び純資産の部合計	2,345,110	2,384,761	-39,651
資産の部合計	2,345,110	2,384,761	-39,651				

資金収支計算書				(単位：千円)			
勘定科目	予算額	決算額	差異	勘定科目	決算額	前年度決算額	差異
収入 就労支援事業収入(1)	130,299	130,951	-652	収入 就労支援事業収入(1)	133,821	131,590	2,231
支出 就労支援事業支出(2)	118,172	121,192	-3,020	支出 就労支援事業支出(2)	128,866	124,688	4,178
就労支援事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	12,127	9,759	2,368	就労支援事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	4,955	6,902	-1,947
収入 自立支援費等収入	514,052	512,732	1,320	収入 自立支援費等収入	512,732	486,148	26,584
収入 経常経費補助金収入他	38,578	38,661	-83	収入 経常経費補助金収入他	34,827	49,181	-14,354
収入 受取利息配当金収入	6,820	3,727	3,093	収入 借入金元金償還補助金収入	12,773	12,773	0
収入 会計単位間繰入金収入	0	2,540	-2,540	収入 国庫補助金等特別積立金積立金取崩額	31,362	35,813	-4,451
収入 経理区分間繰入金収入	0	56,140	-56,140	収入 その他の収入(過年度収入)	0	0	0
福祉事業活動による収入(4)	559,450	613,800	-54,350	収入 事業活動収入(4)	591,694	583,915	7,779
支出 人件費支出	356,712	359,273	-2,561	支出 人件費支出	357,091	342,350	14,741
支出 事務費支出	51,352	50,243	1,109	支出 事務費支出	45,798	46,738	-940
支出 事業費支出	72,654	77,277	-4,623	支出 事業費支出	77,278	78,194	-916
支出 借入金利息支出他	4,730	4,735	4	支出 減価償却費	70,367	73,808	-3,441
支出 経理区分間繰入金支出	0	56,140	-56,140	支出 徴収不能額	0	0	0
福祉事業活動による支出(5)	485,448	547,668	-62,220	支出 退職給与引当金繰入他	4,445	4,420	25
福祉事業活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	74,002	66,132	7,870	支出 事業活動支出計(5)	554,979	545,510	9,469
収入 施設整備等補助金収入	0	0	0	福祉事業活動収支差額(6)=(4)-(5)	36,715	38,405	-1,690
収入 設備整備補助金収入	1,200	1,196	4	収入 借入金利息補助金収入	2,175	2,349	-174
収入 その他の収入	0	0	0	収入 受取利息配当金収入	3,727	4,863	-1,136
施設整備等収入計(7)	1,200	1,196	4	収入 有価証券売却益	118	165	-47
支出 建物取得支出	0	0	0	収入 会計単位間繰入金収入	2,540	4,000	-1,460
支出 構築物・機械及び装置取得支出	0	0	0	収入 経理区分間繰入金収入	56,140	0	56,140
支出 固定資産取得支出	2,609	2,623	-14	事業活動外収入計(7)	64,700	11,377	53,323
施設整備等支出計(8)	2,609	2,623	-14	支出 借入金利息支出	4,735	4,706	29
施設整備等資金収支差額(9)=(7)-(8)	-1,409	-1,427	18	支出 経理区分間繰入金支出	56,140	0	56,140
經常収支差額(10)=(3)+(6)+(9)	84,720	74,464	10,256	支出 有価証券売却損	108	108	0
収入 借入金収入	0	0	0	支出 事業活動外支出計(8)	60,983	4,706	56,277
収入 投資有価証券売却収入	200,108	200,108	0	事業活動外収支差額(9)=(7)-(8)	3,717	6,671	-2,954
収入 借入金元金償還補助金収入	12,772	12,773	-1	經常収支差額(10)=(3)+(6)+(9)	45,387	51,978	-6,591
収入 積立預金取崩収入	92,053	92,575	-522	収入 施設整備補助金収入		16,000	-16,000
財務収入計(11)	304,933	305,456	-523	収入 設備整備補助金収入	1,196	7,025	-5,829
支出 借入金元金償還金支出	27,265	26,527	738	収入 国庫補助金等特別積立金取崩額	124	5,000	-4,876
支出 投資有価証券取得支出	292,306	292,306	0	収入 その他の特別収入	0	0	0
支出 積立預金積立支出	0	262	-262	特別収入計(11)	1,320	28,025	-26,705
支出 流動資産評価減等による資金減少額等	0	108	-108	支出 基本金			
財務支出計(12)	319,571	319,203	368	支出 固定資産売却損及び処分損	478	1,010	-532
財務活動資金収支差額(13)=(11)-(12)	-14,638	-13,747	-891	支出 国庫補助金等特別積立金積立額	1,196	28,025	-26,829
当期資金収支差額合計(14)=(3)+(6)+(9)+(13)	70,082	60,717	9,365	支出 その他の特別損失	0	0	0
前期末支払資金残高(15)		139,439		特別支出計(12)	1,674	29,035	-27,361
当期末支払資金残高(16)=(13)+(14)		200,156		特別収支差額(13)=(11)-(12)	-354	-1,010	656
				当期活動収支差額(14)=(10)+(13)	45,033	50,968	-5,935
				繰越活動収支差額			
				前期繰越活動収支差額(15)	394,752	409,238	-14,486
				当期末繰越活動収支差額(16)=(14)+(15)	439,785	460,206	-20,421
				その他の積立金取崩額(17)	0	0	0
				その他の積立金繰入額(18)	60,952	65,454	-4,502
				次期繰越活動収支差額(19)=(16)+(17)-(18)	378,833	394,752	-15,919

平成二十五年事業計画

本年4月から「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」をはじめ「障害者優先調達推進法」さらに昨年10月の「障害者虐待防止法」が施行される等、障害福祉施策が目まぐるしく変化しています。こうした状況のなか、法改正に的確に対応するとともに、特に障害者の虐待を未然に防止する対策を積極的に取り組んでいきます。本年度は、法人・施設運営の方向性を定めた「中期行動計画」の最終年度となることから、計画にもとづいた5年間の実績を総括し、次の新たな「第二次中期行動計画」の策定に取り組みます。また、創立55周年を迎えるにあたり地域ニーズに合わせた新たな事業の展開に努めるとともに記念事業に向けた事業の取組を進めます。

「法人事務局」は、より質の高いサービス提供のため、「職員倫理綱領」、「職員行動指針」を定め利用者の人権等に配慮し、職員の資質向上に努めます。また、利用者を事故、災害から守るため「緊急マニュアル」並びに「総合防災マニュアル」を作成整備し、安心、安全な生活支援の達成に努めます。地域の福祉ニーズをふまえ、充実の一步としてケアホーム(グループホーム)の早期開所に向けて努めます。

止、専門知識、介助技術の研さんに努め実践いたします。また、利用者にとつた生産活動と各種サークル活動の充実、地域行事の参加等を通し自立に向けた支援を推進します。

「貴峯荘ワークピア」は、「障害者優先調達法」への対応に積極的に努め、官公庁への営業活動等を強化し、新たな業務の取得を図るとともに、前年度を上回る実績額を目標とします。また、効率的な運営のため、事業所の定員の見直しを図り、効率的な運営に努めます。「貴峯荘湘南の丘」は、充実した入所生活を送るため、多様な日中活動の展開に努めます。各種サークル活動、社会活動参加、イベント行事等について地元自治会、地元学校生徒等の協力のもと日中活動の充実を図り、交流の機会の創出に努めます。

「貴峯荘地域支援センター」は、在宅障害者の多様なニーズに応えるため、入浴支援に加え日中活動の充実を努めます。また、地域における障害者の生活を支援し、生活の質の向上を目指した相談支援業務を充実・強化いたします。収益事業である「厚生協会クリーナーズ」は、神奈川県リハビリテーション事業団との委託契約によりクリーニング事業を行っており、従業員の半数を障害者雇用とするとともに七沢学園から実習生を受け入れ、障害者の就労の場、実習訓練の場として役割・機能の強化に努めます。

平成二十四年度事業報告

「貴峯荘」においては、前年度末に改修した個室工事により定員を入所40名、短期入所事業4名に変更して、より質の高い施設入所支援・生活介護サービスを提供するとともに、「貴峯荘湘南の丘」においては、利用者個々の特性に応じた介護支援、リハ訓練、医療をはじめとして多様な日中活動の充実を努め、また、「貴峯荘ワークピア」においては、就労継続支援事業B型として利用者が安全に安心して通所できるよう支援の充実を努めました。

また、職員倫理綱領、職員行動指針の策定に向けた検討を重ね、日頃から職員の人権意識を高め利用者が安心して利用できるよう職員研修を積極的に取り組ましました。内部評価の取り組みとして、安心・安全な施設運営とサービスの質の向上を図るため自らそのサービスについて評価を行う内部評価検討部会を設置し自己評価を実施しました。さらに「利用者インタビュー」による意見聴取を行い利用者からの意見を反映させることとしました。

なお、利用者の意見聴取については、利用者が所属していない職員がインタビューすることで公平性を保ちながら実施しました。

授産事業として、貴峯荘、貴峯荘湘南の丘、貴峯荘地域支援センター生活介護事業の利用者が日中活動支援の生産活動に参加し、貴峯荘ワークピアは、就労継続支援事業B型としての就労支援事業を実施しました。今年度の生産活動は、法人全体の地道な営業活動と製品の品質管理、納期厳守に努めた結果、対前年度比5%の増を図ることができました。平成25年度に施行される「障害者優先調達法」に向けて、関係機関に配布する作業案内のチラシを作成し、受注、販路拡大につなげる営業活動の準備を進めました。

「障害者ケア付き住宅事業」は、平成19年4月から市の委託を受け運営しておりましたが、指定有効期間が満了したことから建物設備の老朽化により最近の障害者に配慮した機能が保てないことから年度末に事業廃止しました。なお、入居者につきましては、本人の意思を尊重しながら市との調整の結果、ケアハウス、民間アパートに転居を完了しております。



ご厚意に感謝いたします

クリエイティブカミヤ(株)	代表取締役	藤本 隆平	(福) 三育福祉会	理事長	上田 健
シオン薬局	代表取締役	野村 勲	// シャローム浦上台	施設長	宇都宮明子
(株)アドワン	代表取締役	若林 洋子	(福) 県西福祉会	理事長	松本 信輔
(有)日本活性濾過工業	代表取締役	田島 恒夫	(福) 神奈川県厚生協会	理事長	岩淵 壽郎
山王総合(株)	代表取締役社長	竹口 真	//	理事	金田 和子
小山(株)神奈川営業所	所長	中島 義友	//	理事	落合 文雄
大栄電子(株)	代表取締役	建 梅夫	//	評議員	米倉 五郎
いまい印刷		今井 齊	//	評議員	鈴木美智子
NPO 法人ひびき	理事長	石井 憲子	//	評議員	山崎 一雄
地域活動支援センター			//	評議員	廣田 督
ユーミン・スマイル			//	評議員	山田 欽也
(有)小川屋酒店		小川 文男	//	監事	小澤 正敏
サポート湘南		新田 英雄		個人	落合 正子
サンサービス(株)	代表取締役	沸崎 光利		個人	中元 春一
(株)エス・ケイ・ディ	代表取締役	長谷川辰巳		個人	宮代 明伸
(有)田辺				個人	佐藤 昇一
富士見地区社会福祉協議会	会長	大町 功		個人	上野 昌良
富士見地区民生委員児童委員協議会	会長	石原 幹夫		個人	杉浦 静子
諏訪町会	会長	稲毛 文雄		個人	小林 充
高山医院		高山 秀明		個人	根岸 弘子
鈴木税理士事務所		鈴木 康太		個人	山口 実
(福) 常成福祉会	施設長	伊藤 宗博		個人	仲野とも子
丹沢レジデンシャルホーム				個人	打田 行男
(福) 光友会	理事長	五十嵐紀子		個人	田中 照子
//		斉藤 潔		個人	奥田 桂子
(福) よるべ会	理事長	星野 泰啓			

新 人 紹 介

おのてらゆきえ
▶ **小野寺雪枝** 健康管理
4月に入職して、4ヶ月たちました。これからもよろしくをお願いします。

はりまやしほ
▶ **播磨谷志保** 健康管理
7月からお世話になっています。よろしくをお願いします。

わたなべ かつみ
▶ **渡辺 克美** 総務部長
業界初登版となります。打たして取るタイプですがヨロシク

かわぐち てっせい
▶ **川口 哲生** 支援第二課やまゆり
今年の2月より入社しました、川口です。まだまだ、駆け出しの新人ですが、毎日一生懸命がんばっております。よろしくをお願いします。

あへゆうのすけ
▶ **阿部祐之助** 支援部長兼第二・第三課長
皆さんの笑顔がとてもステキで、元気をいただいています。よろしく願いいたします。

おくやま ひでのり
▶ **奥山 秀則** クリーニング科
目水金と早朝より安全運転で配送中、顔を見かけたら、声をかけて下さい。

みむら いくみ
▶ **三村 育美** 総務課
8/19より総務部総務課の経理担当で入社しました三村です。皆様にご迷惑がかからないよう頑張りますので、どうぞ、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

せりざわ みゆき
▶ **芹沢 深雪** クリーニング科
8月より入りました。笑顔で頑張ります。宜しくお願いします。

こしかわ ぶんお
▶ **越川 文夫** 支援第三課
初めてこの様なお仕事をしましたが、大変です。とにがく頑張っております。

おつかれさまでした 定 年 退 職 者

▶ **北村美江子**
私ごと、八月末日をもって、貴峯荘を定年退職いたしました。在職中は大変お世話になりました。ありがとうございました。

▶ **南 悦子**
4月30日で定年になりましたが、引続き授産の事務を担うことになりました。今後もよろしくお願い致します。